

# KIDS SMILE LABO JOURNAL

“キッズ スマイル ラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。

Vol.32  
January  
2024

TAKE FREE



## KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森誉さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

“その子らしく世界を広げていけるように”

親や保育者  
安心できる大人の近くにいた子どもたちが  
少しずつ少しずつ世界を広げる  
時々こちらを振り返りながらも  
そばを離れて遊べるようになったのは  
愛着という強い絆で結ばれた大人の存在があるから

何度も転び、痛い思いをしながらでも  
目の前に広がる好奇心のままに  
何度もチャレンジをする

心配になることもあるけれど  
自分の世界を広げようとする  
その気持ちや姿を尊重し、あたたかく見守る

日々の生活の中で  
一つ一つの「できた！」の気持ちを共に喜び  
分かち合いながら  
またやってくる新しい体験との出会いを面白がる  
できたりできなかったりの経験を繰り返しながら  
子どもが自分の感覚や解釈の中で  
その子らしく世界を広げていけるように  
やってみたという行動そのものを一緒に喜び  
私たち大人も子どもたちの姿を信じて  
広がりゆく世界を共に味わい楽しもう

photo & text by morimori

## JOURNAL TOPIC

- 01 KIDS SMILE LABO CLASS NEWS
- 02 鎌倉市にあるピヨピヨ保育園に給食研修に行ってきました。
- 03 LABO のお正月～はじめてのおもちつき～
- 04 LIFE IS ART 展を振り返って

kidssmilelabo.com

@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

@kidssmilelabo

@KIDS\_SMILE\_LABO



## KIDS SMILE LABO CLASS NEWS

0 year  
こもれび

## お正月遊びを楽しもう！

肌寒い日が続きますが、こもれびクラスはなんのその、毎日元気いっぱい活動しています。先日は新年の始まりということもあり、お正月遊びを楽しみました。今回は小さな子ども達でも使いやすいように改良した玩具を準備しました。

まずは「スズランテープ凧」。セロテープの芯にスズランテープを付けました。輪っかになっているセロテープの芯は小さな子どもでも持ちやすく、軽いスズランテープは少しの風でも舞い上がるので、こもれびクラスでも楽しむことができます。子ども達は広場内を駆け回り、ヒラヒラ舞い上がるテープに大興奮でした！

次は「CDコマ」。CDの中央の穴にビー玉を付けました。通常のコマより大きいので、小さな手でも扱いやすくなっています。はじめは上手く回せなかった子ども達も、何回か挑戦するうちにコツを掴み上手に回せるように！

くるくる回り続けるコマに「おお〜！」と思わず声が出てしまう姿がとても可愛らしかったです。

お正月遊びに触れる機会も、最近は減ってきているように感じます。ラボでは伝統文化も日々の活動に取り入れながら、大切にしていきたいと思っています。

文 あやや

1 year  
そよかせ

## ともだちっていいな。なかまっていいな。

1月もたくさん歩き、色々な散歩先で遊んできた1歳児クラス。

長い1本道の桜の木が並ぶ遊歩道。木の枝や葉っぱを拾ってみたり、土を掘ってみたり、花梨を拾ってみたりと遊んだ帰り道のこと。かくれんぼがはじまりました。

保育者が「1、2、3・・・9、10！」「もういいかい？」と聞くと、「もう、いいよ」の可愛い声。見つけてみると、7人が1列になり、手で顔を隠している姿がありました。保育者が「みつけた」というと、「ばあ！」とでてきて、また1本道を走って隠れ、1回だけでは終わらず、何回も何回も楽しみました。また別の日、広場のブランコに乗り、保育者に背中を押し揺れている2人。2人は隣同士で「わあ！」と言いながら一緒に揺れているのが楽しく、その日は2人の世界を夢中で楽しみ、3、40分近く揺られていました。

斜面あそびでは、斜面の上まで先上った子が、下から頑張って上ってくる子に対して「おいで！」「おいで！」と手を差し伸べる姿だったり、公園にあるベンチを電車に見立て、一人が乗ると乗客が増えていく様子もありました。

そよかせクラスの子どもたちは、一人ではなく友だちと一緒に、走ったり、笑ったり、揺れたり、手を差し伸べたり、と色々な気持ちを共有している時間が増えてきました。これからの「なかま」と大切な時間を過ごしてほしいです。

文 さっどん

2 years  
のばな

## 日常生活の中で見えた優しさ

12月からリュックサックの導入を始め、散歩の前後は身支度をより一層頑張っています。リュックサックを背負い始めた頃は「できない〜」「手伝ってよ〜」と、散歩に出るのに時間がかかっていましたが、最近は嬉しい変化が見られるようになってきました。

ある日のこと、いつものように「できない！」と胸元の留め具を留められずに涙目の子がいました。

そんな様子を見て、「だいじょうぶ？」と優しく声を掛け、泣いている友だちの留め具を一生懸命留めてあげる姿が見られました。困っている友だちを助けたいという純粋な優しさに思わず目が潤んでしまいました。

また、別の日は皆が自分で支度を終えたこともありましたが、ファスナーの開け閉めなど難しい所は大人の手も借りましたが、自分でやるぞ！と皆の意欲が見えた1日でもありました。そうはいっても、支度をする意欲は日によってばらつきがあります。そんな時は散歩に行くことがより楽しみになるような工夫をして、やる気を引き出しています。

そして、年明けから新たに『うがい』を始めました。

帰って支度を終えると、ガラガラと良い音が聞こえてきます。

のばなさんはうがい楽しいようで、気づけば長い時間洗面台に立ってうがいをする姿も見られます。

新年度に向け、引き続き自分の力で身の周りのことができるよう見守っていき、残されたのばなでの時間を大切に過ごしていきたいです。

文 みーちゃん

## きいて きいて ぼくのきもち わたしのきもち

朝と午睡前にクラス全員で集まる場をつくっています。そこでは、その日の活動の話をしたり、振り返りをしたり、絵本を読んだりしています。

その際に、活動や絵本の感想を聞くことがあるのですが、みなそらだいちの子どもたちは、自分の感想を言いたくて元気に手を挙げる姿がよく見られます。その姿を見るたびに、その気持ちを大事にしてあげたいという思いになります。

自分の経験を振り返っても成長に伴い、手を挙げて自分の気持ちを言うというところから遠ざかる傾向が多いように感じるからです。

だからこそ今の姿を大事にして、LABOの場で自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを聴く楽しさをめいっぱい味わってもらえたら嬉しいなと思います。そして、それが自信にもなったらと願いながら発言の場を見守り、より良い環境づくりを試行錯誤しているところです。



聴くことも話すことと同じくらい大事にしています。カラーボールを持っている人が『話す人』。他の人は『聴く人』とし、わかりやすいようにしています。



発言は強制ではなく、自発的に選択できることを大事にしています。「今は言いたくない」という時はその子のタイミングを尊重しています。恥ずかしくて言えないのかなという時は「ちょっとだけ言ってみる？」と背中を押してみたり、個々の様子に合わせて関わっています。

## 絵本に込めた思い

「めんどくさい」「つまらない」「さいてい」マイナスに思えるような言葉たちですが、成長し色々な感情を覚え、言葉を操るようになった証でもあるのかもしれませんが、同時にそんな気持ちで溢れてしまったら悲しいものです。

嫌なこともあるかもしれないけれど、1日を終わるときに良かったことに目をむけられる心を大事にできれば。。。些細なことでも「あーしあわせ!」「ラッキー!」と思えたら。

豊かな人生になっていくような気がします。

1日、1日の積み重ねが人生。

この絵本に出てくるクマのように、ひとつ、ひとつを喜び『そりゃあもういいひだったよ』と1日を終われる心が、子どもたちの中で大きくなっていくことを願って、この絵本を選び、子どもたちと楽しんでいます。

絵本を読むと子どもたちはこのクマのセリフが好きで、ニヤッと笑ったり、一緒に言ってみたりしています。貸し出しコーナーにも置くので、ぜひ親子でも楽しんでいただけたら嬉しいです。



『そりゃあもういいひだったよ』  
作・荒井良二

みなそらだいち 文ちなちゃん

## KIDS SMILE LABO KITCHEN

Vol. 21

素朴でやさしい味の給食のヒ・ミ・ツを学ばせて頂きました。

## 鎌倉市にあるピヨピヨ保育園に 給食研修に行ってきました!



By ままちゃん

### びよびよ保育園との繋がり FROM かおちゃん

びよびよ保育園は前職働いていた場所です。さくらさくらんぼ保育という理論を柱に、LABOでも行っているリズムや子どもたちの身体の調整、食育を行っています。このさくらさくらんぼの理論は奥深く、多数の書籍にもなっています。今回、更なる食育の学びをさせていただきたいと伝えると、快く研修を引き受けてくださりました。ご協力いただきました職員の皆さま、園長先生ありがとうございました。

### ピヨピヨ保育園の給食はどんな給食?

- ★ 野菜をたくさん取り入れ、素材の味を大切に作る給食
- ★ だしを活かした給食
- ★ 子どもの食べる意欲を引き立てる給食

### ピヨピヨ保育園の給食のこだわり



#### 1 食べる意欲

どのクラスも全ての子どもたちが、食べさせられているのではなく、自らご飯に手を伸ばして『食べたい』『お腹一杯にしたい』という意欲や気持ちが伝わってきました。

乳児クラスでも温かいものは温かいまま提供され、湯気がでるほど熱いものは自分で「ふーふー」と冷まし、大きい食材は小さくちぎっています。

子どもたちは小さいながらも自分で考え、お腹を満たすために各々給食の時間を過ごしていたのが印象的でした。

幼児クラスでは配膳も子どもたちが自らで行っていました。食べる量を自分のお腹と相談しながら、大盛りに盛り付ける子がたくさんいました。

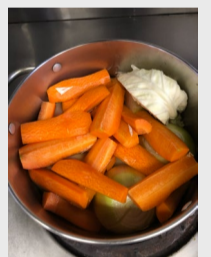
#### 2 だしの活用

かつお、昆布、煮干しを使い毎日、だしを作ることからスタートしていました。

また献立によって、だしの組み合わせを変えているようです。どれもこだわりの食材で香りや味も良く、旨味の多いだしを作っていました。だしをとるのに使った昆布なども子どもたちがそのまま食べていたり、ひと手間加えて給食の一品にするなどの工夫もされていました。

#### 3 食材の大きさ

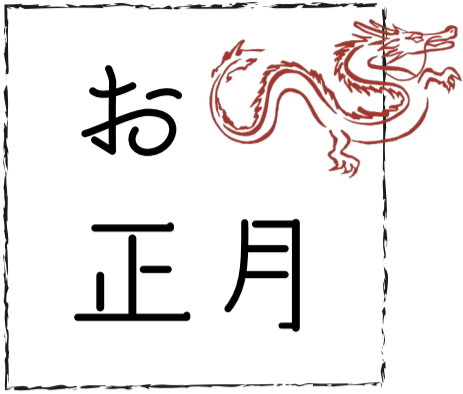
食材は小さく切るのではなく、あえて大きく切り、食感や素材の味を味わうことができるように工夫されていました。また、咀嚼効果をあげる為に0歳児の手づかみ食べから大きくカットしてました。



### 研修を終えて kids smile labo で目指す給食

- ★ 食材のカットサイズを見直し大きくする。子どもたちの咀嚼力に繋がるように配慮し、素材本来の美味しさを知ってもらう
- ★ 素材の味を引き出せる、薄味で素材の旨味を感じさせる味付け
- ★ 子どもの食べたい意欲を引き出す工夫をしていく
- ★ 農家さんの新鮮なお野菜を積極的に献立に取り入れ、旬や四季を感じられる、見た目も味も美味しい給食





## はじめてのお餅つき

### お餅つきに至るまで

日本の伝統的な文化お餅つきをラボで子どもたちと体験したい、つきたてのお餅の美味しさを味わってもらいたい、という思いで初めてのお餅つきを開催しました。お餅つき前日、子どもたちにお餅がお米からできていることを話し、餅米と白米を見比べることに。触ってみると餅米は「ちょっとふわふわするかも」、色は「白い！」と違いを発見することができました。



### お餅つきが始まるぞ！

お餅つき当日、お餅を入れる器を臼、お餅をつく棒は杵と、まずは道具を紹介。大きな臼に対して「どうやって作ったのー？」と質問したり、杵を持ってみると「重い」と、その重量感を感じる子どもたち。実際に手にしたことで餅つきへの期待も高まったように感じました。お餅をつき始める前には、蒸されたての餅米をみんなで食べ、「おこめだー！」「おいしい！」とお餅になる前の姿を味わいました。

餅米を臼にいれ、初めは大人が粒を潰し、潰せたところではよいよ子どもたちの出番。「べったんべったんべったんこー！」と掛け声をかけながら、大地から野花へ、そして水面、大空と2歳から5歳のみんで杵を繋ぎ、お餅をついていきます。途中からは「いーち、にーい、さーん、しー...」と掛け声をかけながら交互に10回ついていきました。仕上げはラボと設計事務所の大人で。子どもたちは大人がつく姿を見て、「がんばれー！」と声に出してみたり、全身を使って応援する子もいました。



### つきたてのお餅の美味しさを知った子どもたち

みんなでついたお餅が完成し、できたてをバクリ。「もちもちしてる」「甘い」と、つきたてのお餅ならではの柔らかくて伸びる食感を堪能しました。

給食では、6種類の味の中から自分で好きな味のお餅を選ぶビュッフェ形式に。好きな味を堪能する子もいれば、色々な味を味わいたくて何味にしようかじっくり選ぶ姿もありました。どの味も人気でしたが、その場で醤油をつけて海苔を巻く磯部風味が人気でした。

それぞれが選んだお餅を食べると「(白餅が) ポップコーンみたい！」「(きなこ餅が) あまい！」「おいしい！」とつきたてとは違う味を楽しみながら、嬉しそうに食べる子どもたち。

家庭ではあまりお餅を食べなかった子が、自分から手を伸ばして食べてみたり、おかわりをする子もいました。自分でお餅をつき体験や、できあがるまでの過程を知ることで、つきたてのお餅も食べてみようかなと、思えるきっかけに繋がった瞬間をみることができました。

今回のお餅つきは、お餅ができあがるまでの過程を大切に、何でできている、どうやってできるのかを知ってほしいと考えていました。

お米からできていることを知り、できたての美味しさを味わった今回の体験が子どもたちの中で、食への興味に繋がったり、餅つきという文化が来年以降もラボに根付いていくといいなと思います。

文 れいじくん



かるた遊び  
初詣  
お正月を満喫したよ  
たこあげ  
福笑い  
羽根つき

